

教科(科目)	公共	単位数	2単位	学年	1学年(商業科・情報処理科)
使用教科書	実教出版 公共704 『公共』				
副教材等	第一学習社『クローズアップ公共2022』				

1 学習目標

<p>① 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>② 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>③ よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>

2 指導の重点

<p>現代社会の諸課題について各メディア、ICT 機器やニュース検定等の教材も使いながら理解させる。 また、それらの問題を主体的に考察し、自らの意見を的確に表現し、問題解決に向けて他者とのコミュニケーションを図る態度を育てる。</p>

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・ワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・ワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・ワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4 月	第1部 公共の扉 第1章 社会を作る私たち	1	生涯における青年期の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・人生における青年期の意義を理解する。 ・青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法を理解する。 ・パーソナリティの理論を理解する。 ・望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考える。 ・青年期の発達課題を理解する。 ・働くことの意義と社会参加の意義を理解する。 ・自分のこれまでの経験をとおして形成してきたキャリアや能力が今後の職業とどのように結びつくか考える ・伝統的な倫理観が現代の日本人の生き方や考え方にも影響を与えていることを具体的な事例を通じて考える。 	a b c	課題提出 授業への参加姿勢 グループ活動や発表
		1	自己形成の課題			
		2	職業生活と社会参加ナビ③			
		1	伝統・文化と私たち			
5 月	第2章 人間としてよく生きる	1	古代ギリシアの人間観	<ul style="list-style-type: none"> ・理想的な人間の生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの主張を理解する。 ・自由についてのカントとヘーゲルの主張を理解する。 ・ハーバーマスやアーレントの政治理論の理解をもとに、「公共的な空間」として形成された現代社会の諸課題、「社会的存在」である人間の在り方生き方について考える。 	a b c	
		1	科学と人間			
		1	自由の実現			
		1	社会を作る人間			
1学期中間考査					a b	
6 月	第3章 他者とともに生きる	1	人間と幸福	<ul style="list-style-type: none"> ・功利主義の考え方を理解する。 ・社会の公正なあり方について思索したロールズとセンの主張を理解する。 ・リバタリアニズムやコミュニタリアニズムの主張を理解する。 	a b c	
		1	公正な社会をめざして			
7 月	第4章 民主社会の倫理	1	人間の尊厳と平等	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と平等といった原理の背景にある考え方を理解する。 ・差別や偏見を是正するための取り組みやその背景にある考え方を理解する。 ・男女共同参画社会を実現するためにどうしたらいいのか、話し合い、自分の意見をまとめる。 	a b c	
		1	自由・権利と責任・義務			
	第5章 民主国家における基本原理	1	民主政治の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の誕生と発展について理解する。 ・法の支配の考え方について理解する。 ・民主政治の意義と課題について理解する。 ・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度について理解する。 	a b c	
		1	民主政治の基本原則			
第2部よりよい社会の形成に参加する私たち 1 現代の民主政治と日本国憲法	2	日本国憲法の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の成立の経過について理解する。 ・日本国憲法の基本原則について理解する。 ・基本的人権の各権利について、実際の裁判事例などを見ながら、理解する。 	a b c		
	1	日本国憲法の基本的性格				
	1	自由に生きる権利 平等に生きる権利				

	1 学期期末考査				a b			
		1 2	社会権と参政権・請求権 新しい人権 人権の広がり と公共の福祉 Active 2	・日本国憲法では明確に規定されていない新しい人権について理解する。 ・公共の福祉について理解する。 ・防犯カメラの設置とプライバシーについて話し合い、自分の意見をまとめる。	a b c	課題提出 授業への参加姿勢 グループ活動や発表		
	第1章 日本国憲法の基本的性格	2 1	平和主義とわが国の安全 こんこちの防衛問題	・憲法の平和主義の世界史的意義について理解を深め、日米安保体制と日本の防衛政策の現状について理解する。				
8 9 月	第2章 日本の政治機構と政治参加	1 1	政治機構と国会 行政権と行政機能の拡大	・国会や内閣の仕組みと権限について理解する。政策決定における行政官僚の役割を学習し、政財官の関係について考える。	a b c	課題提出 授業への参加姿勢 グループ活動や発表		
		1 1	公正な裁判の保障 ナビ⑥ challenge 1	・三審制や裁判員制度の仕組みについて理解する。 ・裁判員制度のしくみを理解し、架空の事件を通して判決を考える。				
		1	地方自治と住民福祉	・地方自治の本旨を理解し、地方分権の実態と課題について考える。				
		1	政党政治	・政党政治の意義、仕組みと課題を理解する。				
		1	選挙制度 ナビ⑧ challenge 3	・日本の選挙制度の特徴と課題について理解する。 ・18歳から選挙権を有することをふまえ、投票による政治参加の意義に気付く。				
10 月		2 学期中間考査					a b	
		2 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会	1 1	経済主体と経済活動の意義 経済社会の変容	・経済活動の意義、経済主体と経済循環、グローバル化のなかの経済活動の動きについて、実際の経済事象とも関連させながら理解する。		a b c	
			1	Active 3	・大きな政府と小さな政府のどちらが望ましいか、話し合い、自分の意見をまとめる。			
	1		市場のしくみ	・市場経済における価格の働き、市場の失敗と政府の役割について、実際の経済事象とも関連させながら理解する。				
	1		市場の失敗					
	1		現代の企業					
	1		国民所得	・経済の指標の計算方法と意味、経済成長とその要因、景気変動と物価について理解する。				
	1		経済成長と国民の福祉					
	1		金融の役割 ナビ⑩	・金融を通じた経済活動の活性化について考える。 ・様々な金融商品を活用した資産運用に伴うリスクとリターンなどについて考える。				
	1		財政の役割と租税	・財政のもつ3つの役割について理解する。				
	1		日本の財政の課題 Active 4	・租税を中心とした公的負担の意義と必要性について理解する。 ・一般会計歳出について、なぜこれほど大きく伸びているのかについて協働的に考える。 ・財政再建の方策について、実現可能性を考慮に入れながら多面的・多角的に考察、構想したりしたことを、論拠をもって表現する。				
11 月	2 学期中間考査				a b			
	第2章 日本経済の特質と国民生活	2	転機に立つ日本経済	・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を、統計資料を基に考え、現在日本が直面している諸問題が経済に与える影響を考える。	a b c			
		1	消費者問題 ナビ⑫⑬	・消費者契約の特色、消費者法制と消費者の権利、消費者主権と消費者市民社会形成などについて理解する。				
12 月	2 学期中間考査				a b			

		2	労働問題と労働者の権利 ナビ⑮ こんこちの労働問題 Active 5	<ul style="list-style-type: none"> 労働契約の特性、労働者の権利と労働三法の内容、現在の労働問題について、実際の職業や労働のあり方との関わりも含めて理解する。 将来、どのような働き方をしたいか、ワーク・ライフ・バランスにも着目して話し合い、自分の意見をまとめる。 				
		2	社会保障の役割 Active 6	<ul style="list-style-type: none"> 日本の社会保障制度のしくみについて、諸外国の制度との比較も含めて理解する。 少子高齢化が進行する中で、財源と対象を検討する。 これからの社会福祉について、対象範囲や財源なども含めて話し合い、自分の意見をまとめる。 				
	2学期期末考査					a b		
1月	3 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向と課題	1 1 1 1 1 1	国際社会と国際法 国際連合と国際協力 こんこちの国際政治 人種・民族問題 軍拡競争から軍縮へ 国際平和と日本の役割 Active 8	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の成立とその特色、国際法の意義と役割、国際社会の主体の変化などについて、実際の国際的な事象と関連させながら理解する。 国際連合の成立過程と意義、第二次世界大戦後の国際政治の展開について理解する。 国際社会において国家間のさまざまな問題が生じる背景と外交の意義について考える。 人権保障と人種・民族問題について理解する。 日本の戦後外交について、外交の三原則に基づいて進められてきたことを理解する。 日本が今後の国際社会で果たすべき役割は何か考える。 アフリカの現状を知り、それらの解決策を話し合い、自分の意見をまとめる。 	a b c	課題提出 授業への参加姿勢 グループ活動や発表		
2月	第2章 国際経済の動向と課題	1 1 1 1 1	貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 地域経済統合の進展 国際経済のつながりと課題 発展途上国の課題と日本の役割 Active 9	<ul style="list-style-type: none"> 貿易の意義、円高・円安の生じる理由、経済のグローバル化について考える。 南北問題の発生原因について考え、発展途上国の抱える問題を理解する。 持続可能な世界を実現するための方策を、SDGsから考え、話し合う。 	a b c			
3月	第3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	4	社会的な課題の発見と資料の収集・分析	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な地域、国家・社会、国際社会づくりに必要なのは何か、社会的な見方・考え方を総合的に動かせ、現実社会の諸課題を探究する。 	a b c			
	学年末考査						a b	

計 70時間 (50分授業)

6 課題・提出物等

- 授業で使用するプリント
- グループワークの際のワークシート、探求活動の際のレポート等、適宜提出を求めます。

7 担当者からの一言

- 授業への姿勢を大切にしてください。また、日頃からメディアで報道される時事的な課題に関心を持ち、現代社会の課題や問題点に目を向け、新しい知識や視点を吸収し、視野を広げてください。
- 客観的な資料に基づいて、諸課題を考察し、解決のあり方を模索する態度を身に付けてください。

(担当：細野 敦子)